

AUDIO VISUAL MAGAZINE 【ハイヴィ】

# HiVi

品質で選ぶ「グランプリ」

2

2020  
FEBRUARY

現代最高の  
オーディオビジュアル

Grand  
Prix

BEST AUDIO VISUAL  
PRODUCTS  
OF THE YEAR





スピーカーシステム部門賞

上位機の要素を見事にまとめあげた  
モニターオーディオ  
小型2ウェイ機の理想形を追求した  
ソナス・ファベール



PROFILE

モニターオーディオの最上級モデルプラチナムIIシリーズの要素技術を受け継いだ、5世代目の「GOLD」。変更箇所はユニットやその固定方法など抜本的なもの。写真の通り、要望に応じたサラウンドシステムを組めるよう、各種スピーカーが用意される。左からセンター用のGold C250 5G、サラウンド用のGold FX-5G、Gold 200-5G、Gold 300-5G、Gold 100-5G、そしてサブウーファアのGold W12-5G

## MONITOR AUDIO GOLD 5G Series

——スピーカーシステム部門賞では投票が多岐にわたったため、決選投票を行なったところ、モニターオーディオのGOLD 5Gシリーズとソナス・ファベールELECTA AMATOR（エレクタ・アマトル）Ⅲが選出されました。まずはモニターオーディオについて、コメントをお願いします。

麻倉 フラッグシップシリーズでありHiVi視聴室のリファレンスでもあるプラチナムIIの美点と言えるグラデーションのなめらかさを受け継いだ、品格のある音に仕上がっています。それでいて従来のGOLDシリーズらしいメリハリ感もしっかり残っているのが嬉しいですね。

小原 麻倉さんのおっしゃる通りです。外観や仕上げこそ先代のGOLDシリーズとそれほど変わりませんが、ハイルドライバーの発展形である独自のMPD (Micro Pleated Diaphragm) トランジューサーの搭載や、エンクロージャーの後方から各ユニットをテンションロッド1本で固定する振動対策など、プラチナムシリーズIIの技術が多く流用されています。マルチチャンネル対応のラインナップがしっかり揃えられている点は従来通りで、HiVi読者にアピールするところの多いスピーカー

システムです。

山本 実際のところ、プラチナムシリーズIIと今回のGOLD 5Gシリーズは、おもな仕様がほぼ共通しています。異なるのはエンクロージャー剛性に関わる部分ぐらいで、上位シリーズで達成された音の精密さはしっかりと活かされている。なかでも小型2ウェイのGOLD 100 5Gは優秀なスピーカーで、プラチナムシリーズIIのPL100 IIよりもパワーリニアリティがよく、サラウンドスピーカーとしても安心して使えます。また、モニターオーディオは以前からシリーズ中に双向放射のサラウンド用スピーカーもラインナップしていますが、ダイポール/バイポール切替えも可能となっているのが、環境によってはうまく活用できるのではないかと思います。

高津 モニターオーディオのラインナップは、センタースピーカーとサブウーファーがしっかり作られているので、2chからマルチチャンネルへの展開も安心して行なえます。5世代目を意味する5Gの名が表す通り、CCAMドライバーなどの技術も成熟していますし、ひじょうに鳴らしやすいシリーズに仕上がっていると思います。